

東京都認証学童クラブ（移行型）設置申請書

東京都知事 殿

設置者

住 所 西東京市南町5丁目6番13号

氏 名 西東京市長 池澤 隆史

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章2（1）①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名		西東京市立下保谷学童クラブ									
2	学童クラブの所在地		郵便番号	202-0004	住所	西東京市下保谷四丁目3番20号						
3	設置・運営形態		公 設 民 営									
4	設置主体	名称	西東京市									
		住所	郵便番号	188-8666	住所	西東京市南町五丁目6番13号						
		代表者	西東京市長 池澤 隆史									
5	運営主体	名称	株式会社こどもの森									
		住所	郵便番号	185-0034	住所	国分寺市光町二丁目5番1号						
		代表者	代表取締役 久芳 敏裕									
6	学童クラブ事業開始年月		平成	22	年	10	月					
7	認証学童クラブ事業開始年月		令和	7	年	4	月					
8	支援単位 ^(※1) の状況	支援単位A	専用区画面積	(部屋名)	42 m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			1.68 m ²			
			児童数	25	名							
			職員体制	放課後児童支援員（常勤）			3	名	放課後児童支援員（非常勤）	0		名
				補助員（常勤）			0	名	補助員（非常勤）	7		名
9	開所時間	平日	放課後から		19:00	まで						
		土曜日・長期休業期間	8:00	から	19:00	まで						
10	国庫補助の有無		有									
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無		有									
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無		有									
13	長期休業期間中の昼食提供		有	夏季休業期間	28 (34)	日間提供 (夏季休業期間の全日数)	提供方法	学童クラブ外部からの搬入（学童クラブによる手配）				
			有	冬季休業期間	4 (5)	日間提供 (冬季休業期間の全日数)		学童クラブ外部からの搬入（学童クラブによる手配）				
			有	春季休業期間	9 (11)	日間提供 (春季休業期間の全日数)		学童クラブ外部からの搬入（学童クラブによる手配）				
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式2のとおり）									
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式2のとおり）									
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無		有	令和	8	年度	受審予定					
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）											
17	利用料	月額	7,000	円								
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)										

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第8号様式乙に記載ください。

第8号様式乙

支援単位名	支援単位ごとの状況						
支援単位B	専用区画面積	(部屋名)	41	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		1.7 m ²
	児童数	24	名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）		2	名	放課後児童支援員（非常勤）	0
		補助員（常勤）		0	名	補助員（非常勤）	6
支援単位C	専用区画面積	(部屋名)	41	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		1.78 m ²
	児童数	23	名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）		2	名	放課後児童支援員（非常勤）	0
		補助員（常勤）		0	名	補助員（非常勤）	6
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数		名				
	職員体制	放課後児童支援員（常勤）			名	放課後児童支援員（非常勤）	
		補助員（常勤）			名	補助員（非常勤）	

活動内容の詳細

第8号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容

- 育成室内にご意見箱と及びご意見カードを設置し、児童が日常的に感じた意見や提案を自由に投函できるようにしている。これにより、児童の思いや考えを尊重し、活動や環境に反映している。
- 納涼祭や運動会など大きな行事の際は児童の中から実行委員を選出し、出し物や種目や日常のグランドや室内の使い方や遊びのルールを児童が議長を務めることも会議で話し合い、決定している。
- 帰りの会等で児童が日替わりで当番となり、その日を振り返り「良かったこと」「頑張ったこと」を発表する時間を設けている。それにより自分の成長や他者の頑張りを認め合う機会となっている。

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日		<ul style="list-style-type: none"> 外遊び：鬼ごっこ、竹ぼっくり、フラフープ、なわとび、フリスビー、サッカー、バスケットボール、一輪車等日替りと時間帯を分けて自由に遊べるようにしている。 室内遊び(児童センター遊戯室)：ドッジボール、卓球、フラフープ、ドッジビー等を日替わりで遊べるようにしている。 児童センターイベント：月4回程度レクリエーションタイム(スポーツと遊びを合わせたものをランダムに実施)への参加。 育成室内で月に1回程度、英語でのリトミックの実施。
「製作活動等」	毎 日		<ul style="list-style-type: none"> レゴブロックやLaQ等組み立てブロックなどは、児童がすぐ取り出し易い場所に置き、いつでも製作活動ができるようにし、一定期間(月曜日～金曜日)展示できるようにしている。 お好み等自由に使える用紙、廃材、色鉛筆やクレヨン、のり等児童の発想に合わせて自由に製作活動ができる環境を整えている。 月に2～3回程度、児童センター事業の工作タイム参加したり、テーマを決めた絵画や工作を希望者が作ることができる学童工作会を実施したりしている。
「地域の文化等に触れる体験」	2	回	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント(地域のお祭りや育成会主催事業のラジオ体操等)への参加。 市の特別緑地保全地区「旧高橋家屋敷林」の竹を使っての七夕飾りの製作。
「自主学習」	毎 日		<ul style="list-style-type: none"> 2つの部屋の1つを静かに過ごす部屋としたり、児童センターの学習室を利用したり、児童が自主学習をしやすい環境を整えている。 図書についても図鑑や辞書、漫画から伝記物、絵本や小説など様々なものを取りそろえ、本に親しむ環境を整えている。 学童クラブでもワーク等のプリントを用意している。
「児童の意見を反映させた行事」	10	回	<ul style="list-style-type: none"> 納涼祭、運動会、大工作会、リクエストおやつ、おやつクッキング

3 要件

西東京市立下保谷学童クラブ

児童の意見を踏まえた内容となって いるか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
-------------------------	-----	-------------------------	-----